

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

大崎地区都市再生整備計画事業(第3回変更)

令 和 2 年 1 月

新 潟 県 三 条 市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

令和2年1月

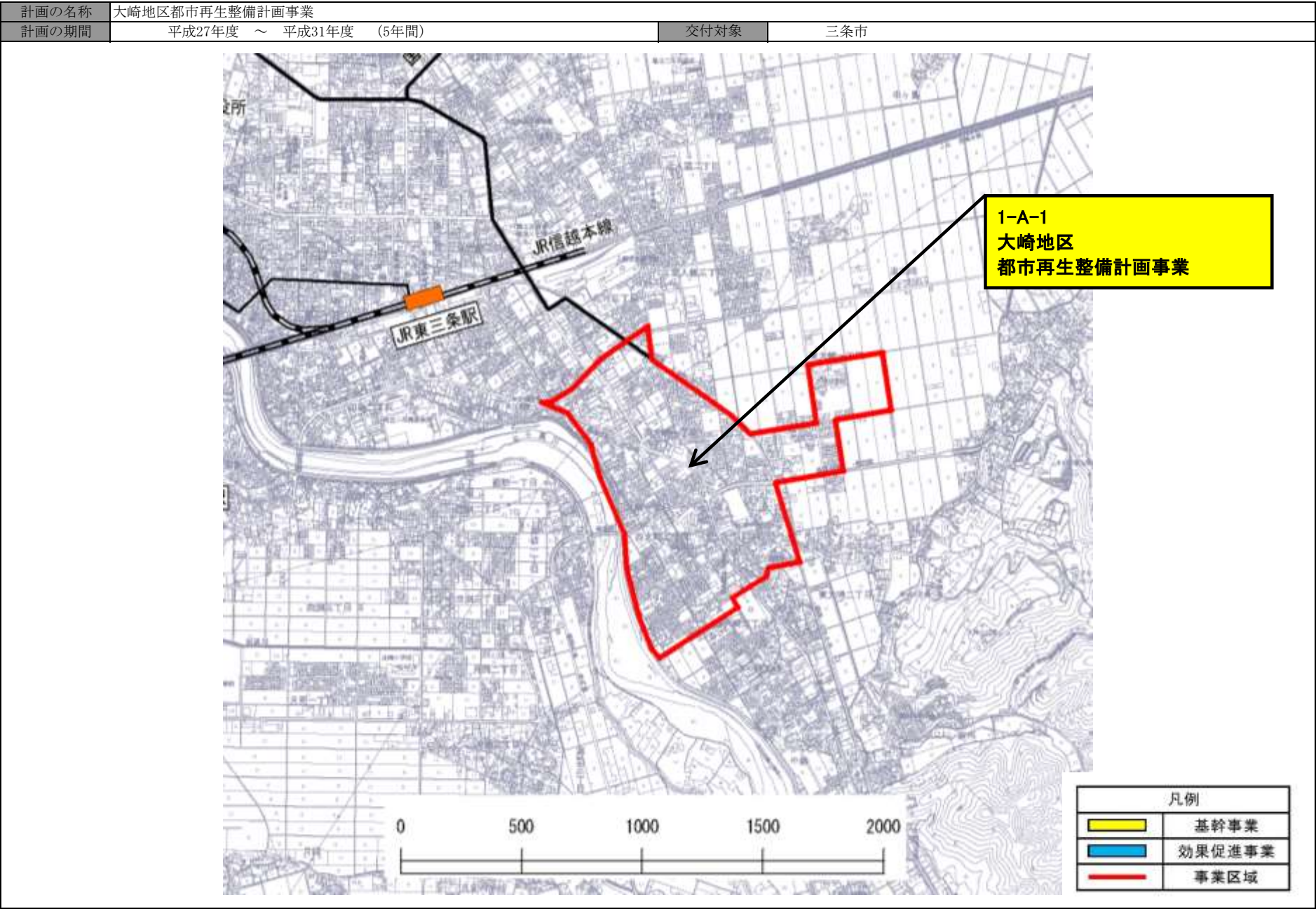
計画の名称	大崎地区都市再生整備計画事業										重点計画の該当					
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）					交付対象		三条市								
計画の目標																
本地区は、市のほぼ中心部に位置し、高低差の少ない平坦な地形を形成している。また用途地域の縁辺部において宅地化が進み、市街地が拡大している状況である。一方で近年多発する豪雨に対応するための内水対策事業や災害時の避難所としての施設整備、及び住工混在の市街地における景観の改善などが必要である。 このことから、浸水被害の改善に向けた定住の場づくり、周辺環境と調和した活力ある産業拠点づくりを基本方針とするまちづくりを推進する。																
計画の成果目標（定量的指標）																
・浸水被害の軽減対策を実施し、道路冠水の範囲を 23.7ha（H26）から0ha（H31）に減少 ・水害対策（河川等の整備）の充実・強化により、市街地等の浸水被害が解消されたかの市民満足度を2.868（H26）から2.968（H31）に増加																
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考							
防災性の高い安全な市街地の形成に向けて、雨水排水対策など浸水被害の軽減対策を実施し、道路冠水の範囲を軽減される。 市街地における集中豪雨時に浸水被害が予想される区域の面積 水害対策（河川等の整備）の充実・強化により、市街地等の浸水被害が解消されたかの市民満足度を調査する。 隔年で実施している市民満足度調査で施策項目の「満足」「やや満足」の回答した割合の平均値とする。						当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)								
						23.7ha	11.8ha	0ha								
						2.868%	2.918%	2.968%								
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	238.9百万円	A	238.9百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0%				
交付対象事業																
A 基幹事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	B / C	備考
1-A-1	都市再生	一般	三条市	直接	三条市	大崎地区都市再生整備計画事業	地域生活基盤施設、公園	三条市	H27	H28	H29	H30	H31	238.9		
合計													238.9			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	B / C	備考
									H27	H28	H29	H30	H31	0		
合計													0			
C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
C-1									H27	H28	H29	H30	H31			
C-2																
C-3																
C-4																
C-5																
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C-1																
C-2																
C-3																
C-4																
C-5																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
D-1									H27	H28	H29	H30	H31			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-D1-1																

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	17.1	1.0	24.8	32.4	12.0
計画別流用 増△減額	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
交付額 (c=a+b)	17.1	1.0	24.8	32.4	12.0
前年度からの繰越額 (d)	0.0	16.0	0.0	0.0	19.4
支払済額 (見込みを含む) (e)	1.1	17.0	24.8	13.0	19.4
翌年度繰越額 (f)	16.0	0.0	0.0	19.4	12.0
うち未契約 繰越額 (g)	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未契約繰越＋不用率 が10%を超えている 場合その理由					

(参考図面) 市街地整備



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:大崎地区都市再生整備計画事業 事業主体名:三条市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	☒
2)上位計画等と整合性が確保されている。	☒
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	☒
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	☒
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	☒
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	☒
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	☒
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	☒
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	☒
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	☒
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	☒
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	☒
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	☐
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	☒
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	☒
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	☐
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	☒